

令和6年度 檀原市転入者・転出者アンケート  
調査結果報告書

令和7(2025)年4月

# 目次

1.調査概要.....	1
2.調査結果.....	2
1.調査対象者の基本属性.....	2
(1)性別.....	2
(2)年代.....	2
(3)職業.....	3
(4)家族構成の変化.....	3
(5)転入・転出後の居住地について.....	4
(6)転入前・転出後の勤務先.....	5
2.転入出について.....	6
(1)転入出のきっかけについて.....	6
(2)檀原市への居住経験(転入者).....	7
(3)転入前における檀原市の生活情報の把握(転入者).....	7
(4)転入前の檀原市についての情報取得媒体(転入者).....	8
(5)檀原市を選んだ理由(転入者).....	9
(6)檀原市への満足度について(転出者).....	9
(7)檀原市にもう一度住みたいと思うか(転出者).....	9
(8)檀原市の魅力的／不満だと感じるどころ(転出者).....	10

## 1.調査概要

### ■ 目的

檀原市では、令和3年度から「はじまりから未来へ、つながりきらめくまち かしはら」を将来ビジョンとするまちづくりを進めています。檀原市第4次総合計画後期基本計画の策定にあたり、転入者・転出者の移動の経緯や市に対する意見を把握し、計画策定に活用することを目的として実施しました。

### ■ 対象、方法、期間

(調査対象者)

調査実施期間中に市民窓口課にて転入出の手続きをされた方

(調査方法)

市民窓口課にて転入出の手続きをされた方に調査票を配布し、回収

(調査期間)

令和7年1月27日(月)～令和7年3月14日(金)

### ■ 回収の状況

転入者:215件

転出者:217件

合計:432件

(調査結果の標記について)

- 百分率については、調査の有効回答数(n)を基数として算出しています。小数点第2位以下を四捨五入しているため、表記の数字の合計が必ずしも100%にならないことにご留意ください。
- 集計結果のうち「多い(少ない、増加した、減少した)」「有意義な増減はみられなかった」「有意な差はみられなかった」などについては、統計学的な検定(両側有意水準5%とした)に基づき記述しています。

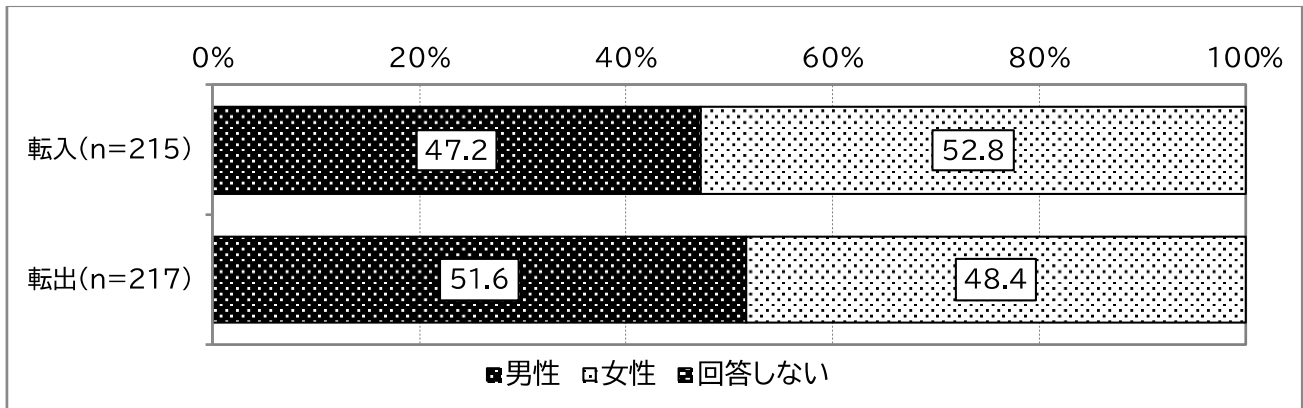
## 2.調査結果

### 1.調査対象者の基本属性

#### (1)性別

転入者について、「男性」が47.2%、「女性」が52.8%となっています。

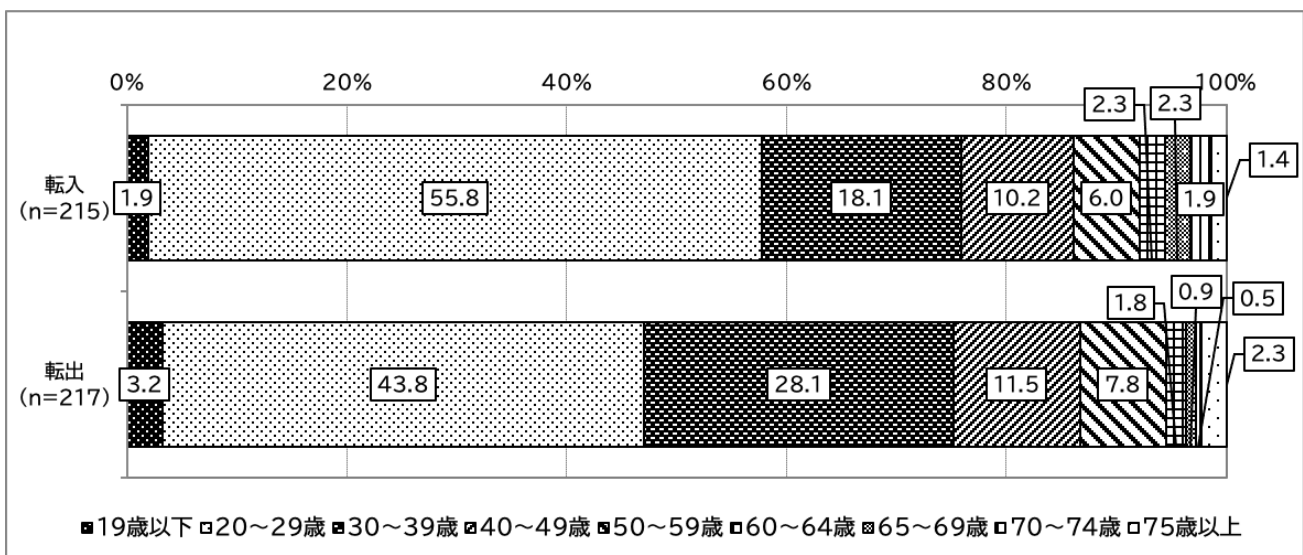
転出者について、「男性」が51.6%、「女性」が48.4%となっています。



#### (2)年代

転入者について、「20～29歳」が55.8%と最も多く、次いで「30～39歳」が18.1%、「40～49歳」が10.2%となっています。

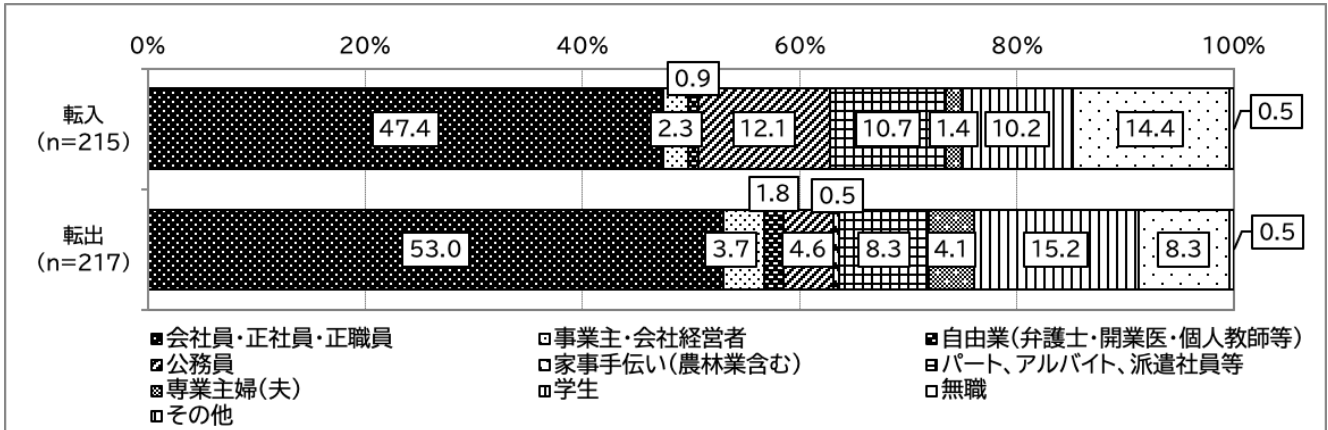
転出者について、「20～29歳」が43.8%と最も多く、次いで「30～39歳」が28.1%、「40～49歳」が11.5%となっています。



### (3) 職業

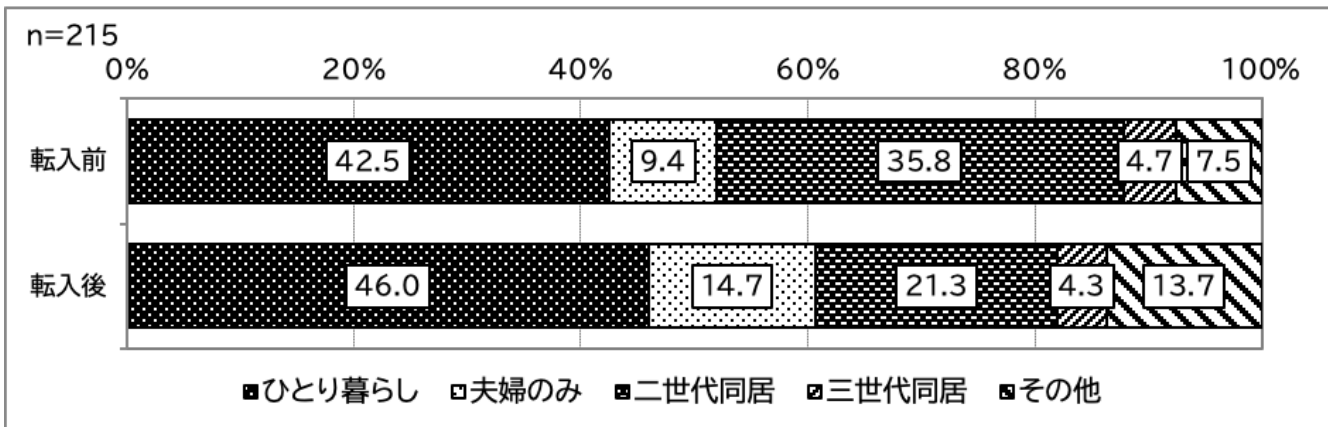
転入者について「会社員・正社員・正職員」が47.4%と最も多く、次いで「無職」が14.4%、「公務員」が12.1%となっています。

転出者について「会社員・正社員・正職員」が53.0%と最も多く、次いで「学生」が15.2%、「無職」、「パート、アルバイト、派遣社員等」が8.3%となっています。

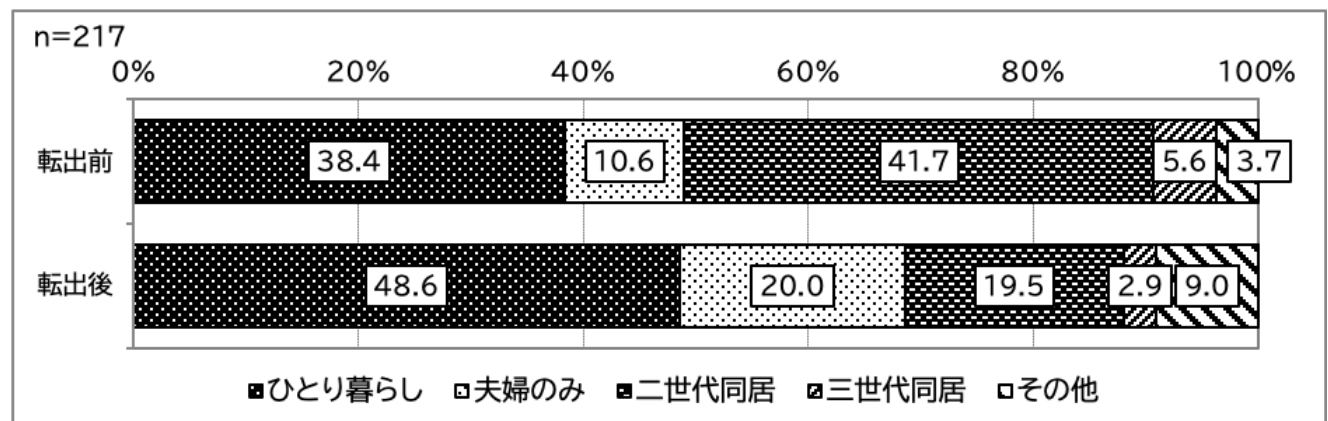


### (4) 家族構成の変化

『転入者』について、転入前は「ひとり暮らし」が42.5%と最も多く、次いで「二世帯同居」が35.8%、「夫婦のみ」が9.4%となっています。転入後は、「ひとり暮らし」が46.0%と最も多く、次いで「二世帯同居」が21.3%、「夫婦のみ」が14.7%となっています。

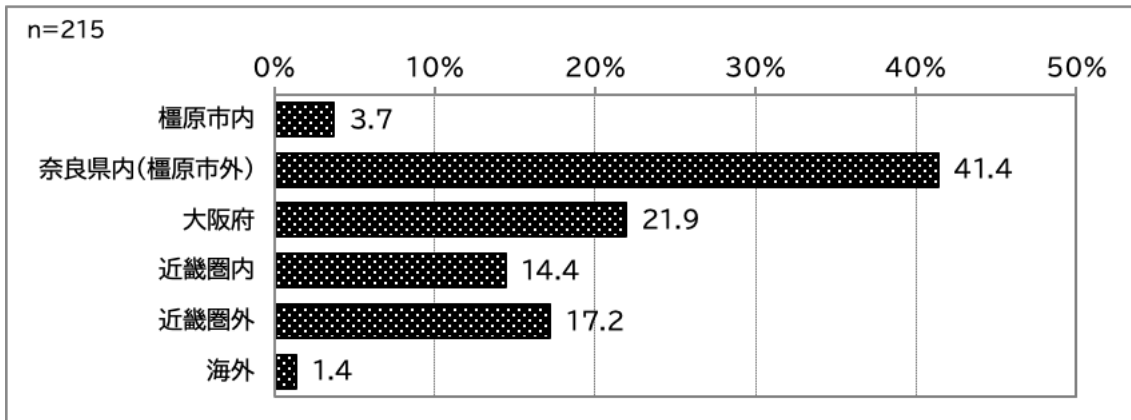


『転出者』について、転出前は「二世帯同居」が41.7%と最も多く、次いで「ひとり暮らし」が38.4%、「夫婦のみ」が10.6%となっています。転出後は、「ひとり暮らし」が48.6%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が20.0%、「二世帯同居」が19.5%となっています。

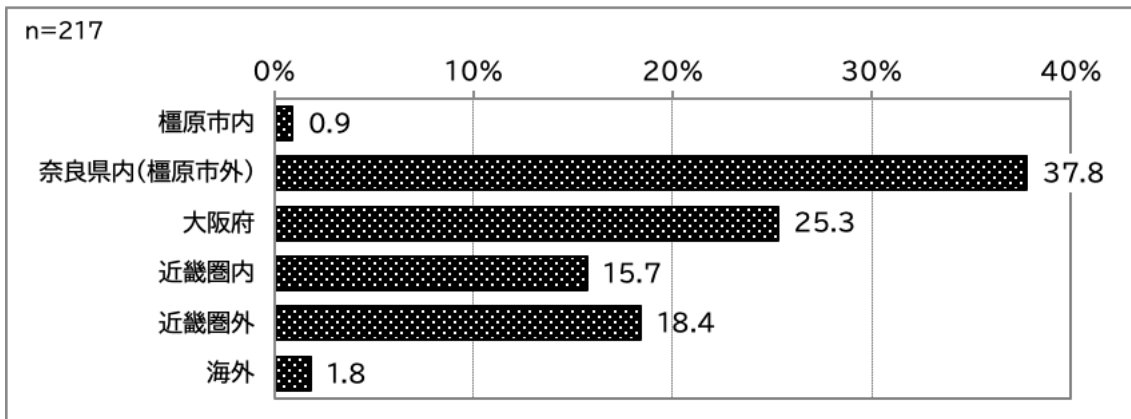


### (5) 転入・転出後の居住地について

『転入者』について、転入前の居住地は「奈良県内(橿原市外)」が41.4%と最も多く、次いで「大阪府」が21.9%、「近畿圏外」が17.2%となっています。

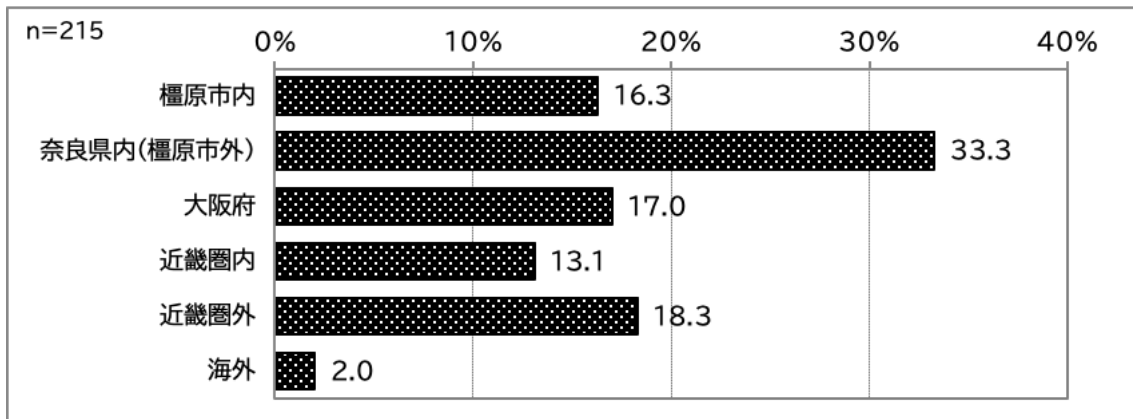


『転出者』について、転出後の居住地は「奈良県内(橿原市外)」が37.8%と最も多く、次いで「大阪府」が25.3%、「近畿圏外」が18.4%となっています。

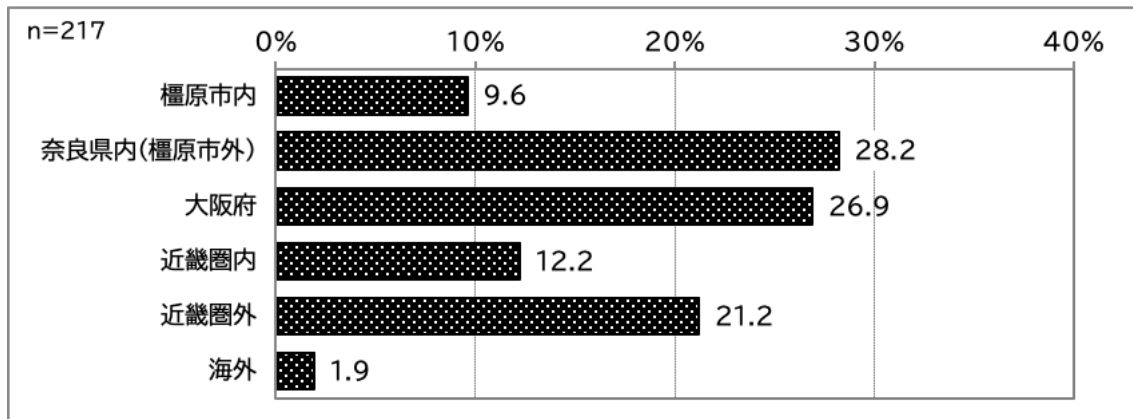


## (6) 転入前・転出後の勤務先

『転入者』について、転入前の勤務先は「奈良県内(橿原市外)」が33.3%と最も多く、次いで「近畿圏外」が18.3%、「大阪府」が17.0%となっています。



『転出者』について、転出後の勤務先は「奈良県内(橿原市外)」が28.2%と最も多く、次いで「大阪府」が26.9%、「近畿圏外」が21.2%となっています。

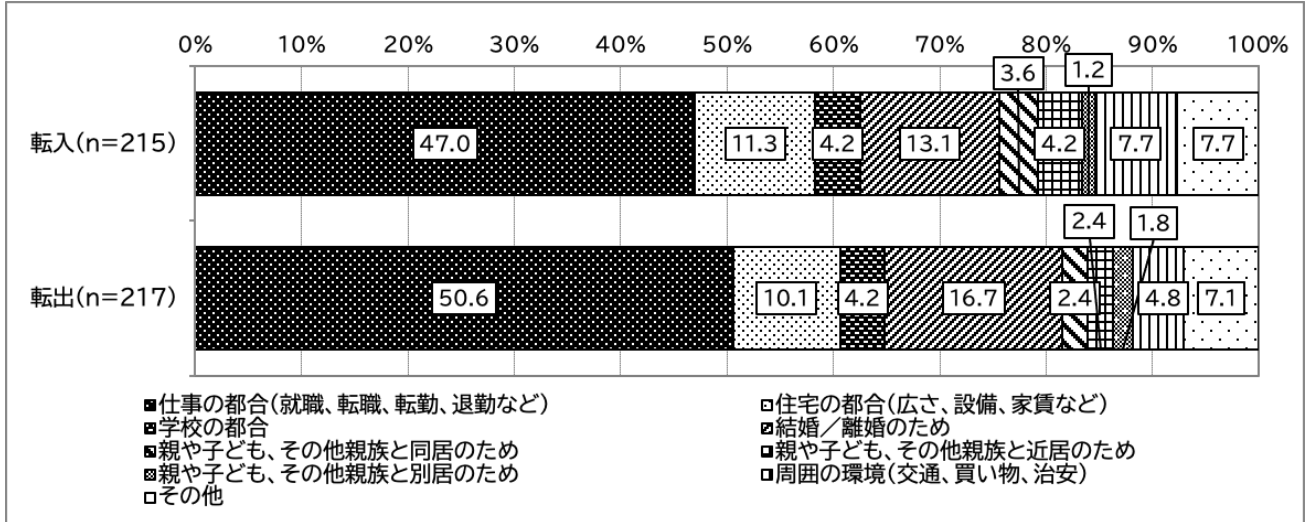


## 2.転入出について

### (1)転入出のきっかけについて

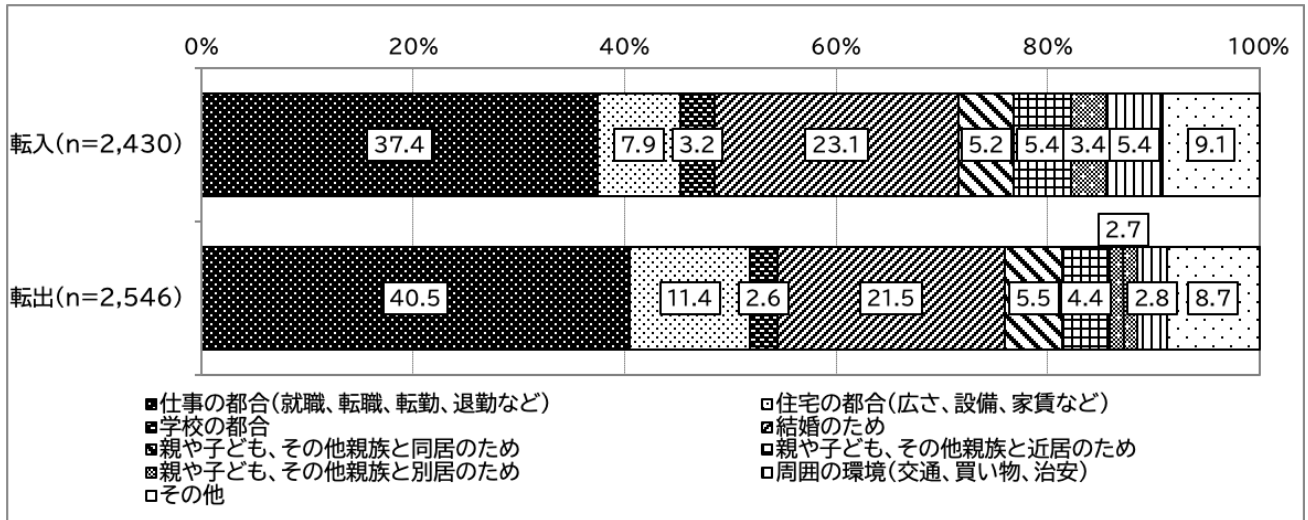
『転入者』について、「仕事の都合(就職、転職、退勤など)」が47.0%と最も多く、次いで「結婚／離婚のため」が13.1%、「住宅の都合(広さ、設備、家賃など)」が11.3%となっています。

『転出者』について、「仕事の都合(就職、転職、退勤など)」が50.6%と最も多く、次いで「結婚／離婚のため」が16.7%、「住宅の都合(広さ、設備、家賃など)」が10.1%となっています。



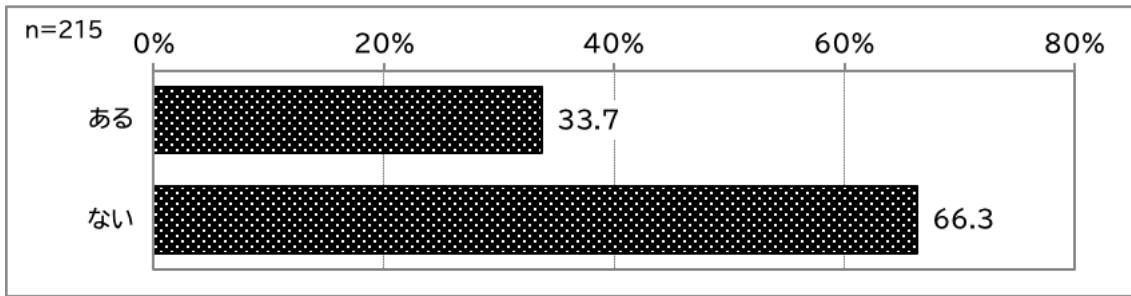
前回調査と比較すると、順位に変動はありませんが、「仕事の都合」の割合が、転入者では9.6%の増加、転出者では10.1%増加しています。

【参考:平成28年度及び平成29年度調査結果 ※不明・無回答を除き再集計】



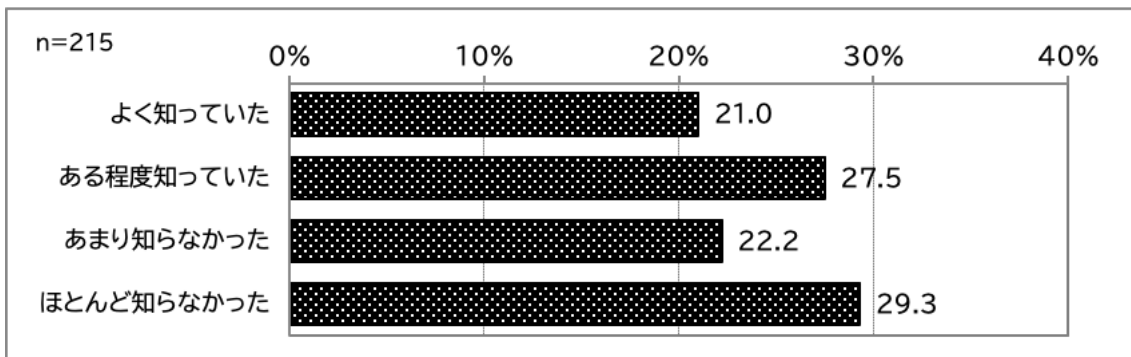
## (2) 檀原市への居住経験(転入者)

今回の転入以前の檀原市への居住経験について、「ある」が33.7%、「ない」が66.3%となっています。



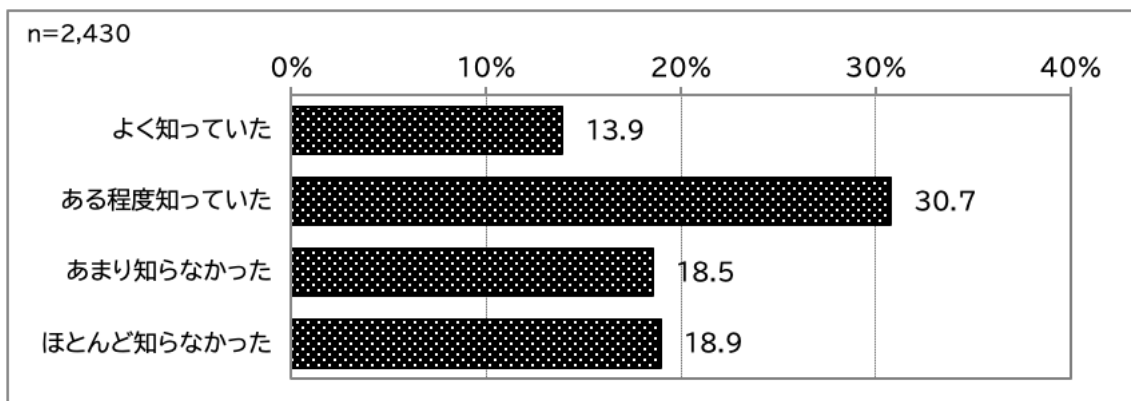
## (3) 転入前における檀原市の生活情報の把握(転入者)

転入前における檀原市の生活情報について、「ほとんど知らなかった」が最も多く29.3%、次いで「ある程度知っていた」が27.5%、「あまり知らなかった」が22.2%となっています。



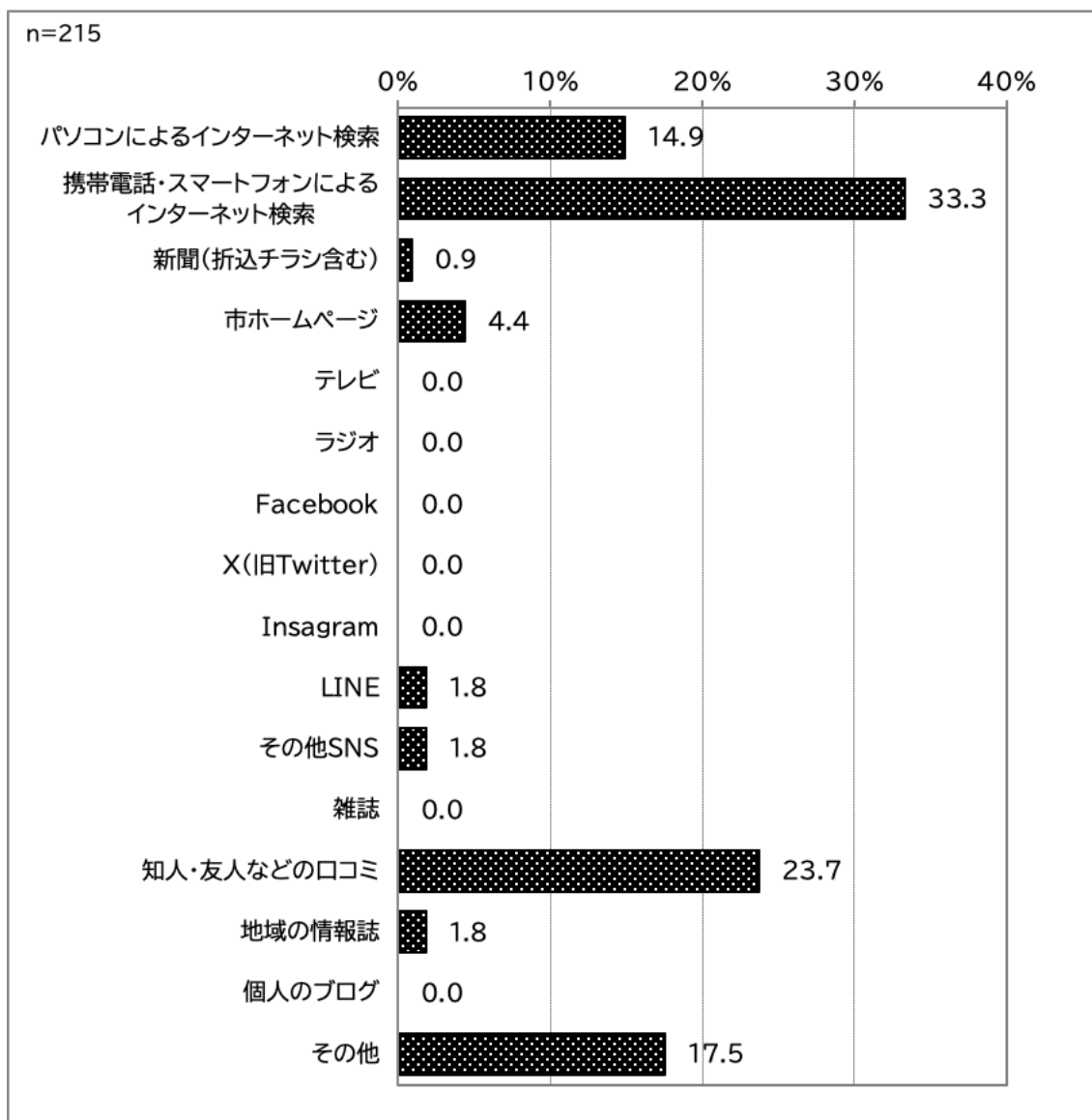
前回調査と比較すると、「よく知っていた」が7.1%増加している一方、「あまり知らなかった」が3.7%、「ほとんど知らなかった」が10.4%増加しています。

【参考:平成28年度及び平成29年度調査結果 ※不明・無回答を除き再集計】



#### (4) 転入前の橿原市についての情報取得媒体(転入者)

転入前の橿原市についての情報取得媒体について、「携帯電話・スマートフォンによるインターネット検索」が33.3%と最も多く、次いで「知人・友人などの口コミ」が23.7%、「パソコンによるインターネット検索」が14.9%となっています。

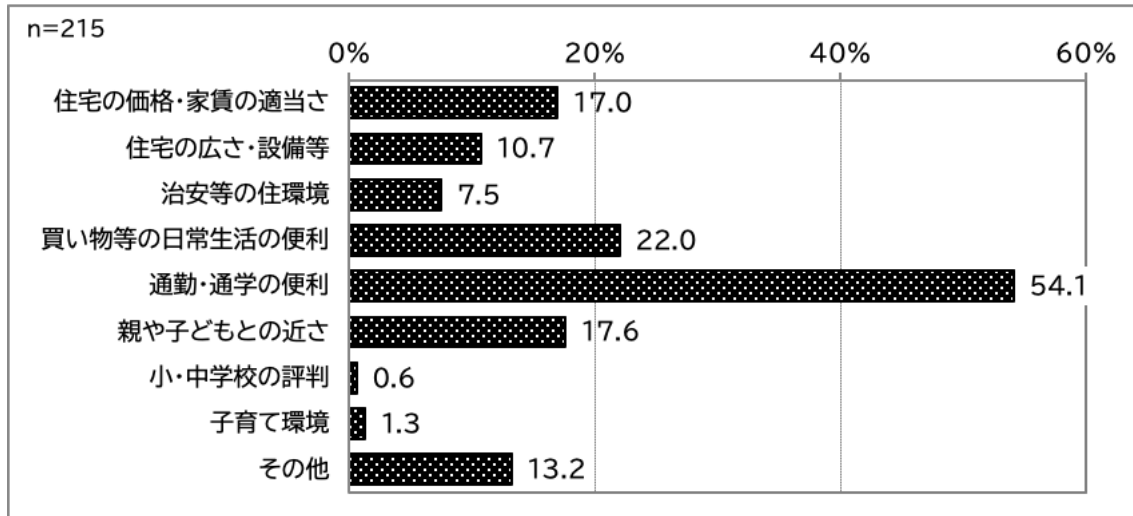


(その他の意見)

以前に住んでいたことがある(10件)、家族、親族からの口コミ(7件) など

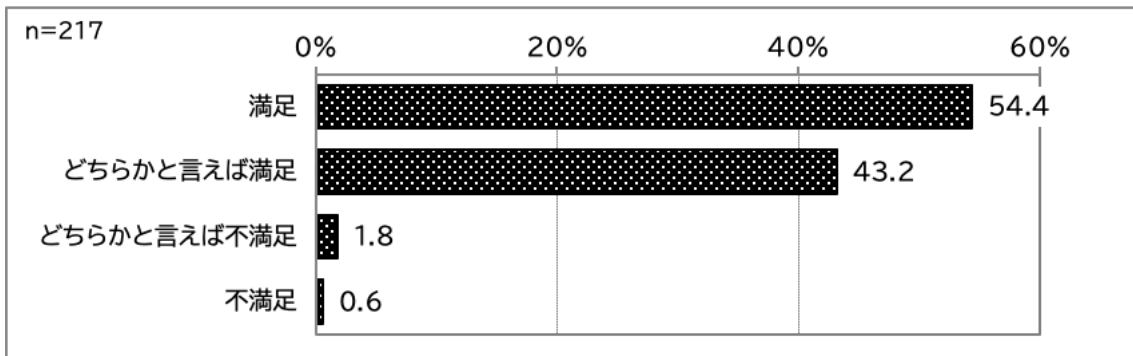
### (5) 檀原市を選んだ理由(転入者)

檀原市を選んだ理由について、「通勤・通学の便利」が54.1%と最も多く、次いで「買い物等の日常生活の便利」が22.0%次いで「親や子どもとの近さ」が17.6%となっています。



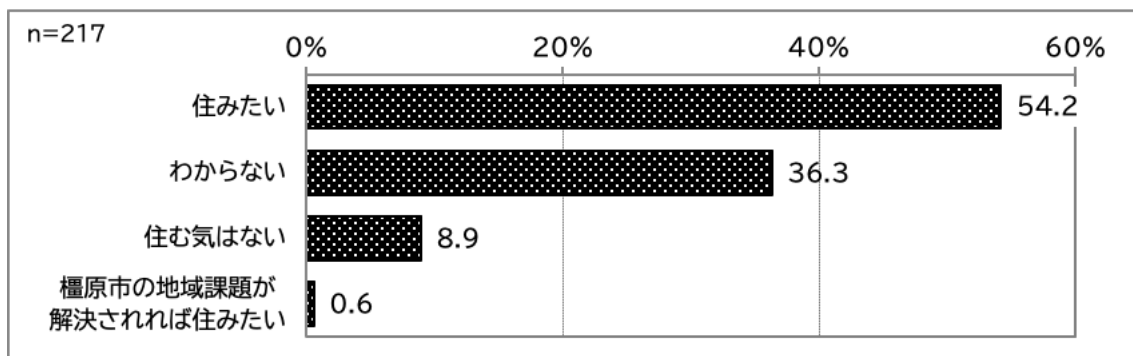
### (6) 檀原市への満足度について(転出者)

転出者の檀原市への満足度について、「満足」「どちらかと言えば満足」の合計が97.6%となっています。「どちらかと言えば不満足」「不満足」の合計は2.4%となっています。



### (7) 檀原市にもう一度住みたいと思うか(転出者)

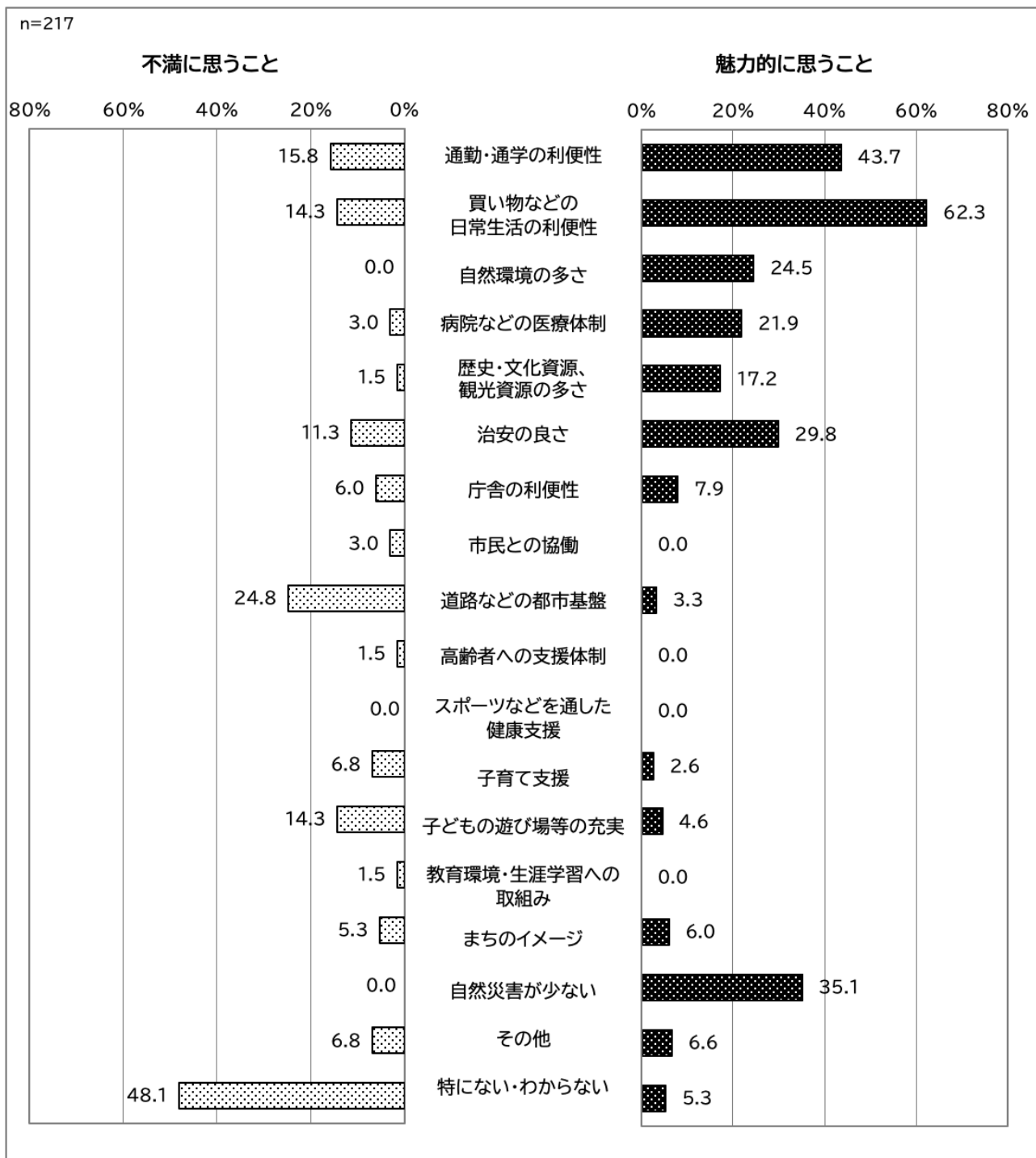
檀原市への再居住意向について、「住みたい」が54.2%と最も多く、次いで「わからない」が36.3%となっています。



### (8) 檀原市の魅力的／不満だと感じる場所(転出者)

檀原市の魅力的だと感じる場所について、「買い物などの日常生活の利便性」が最も多く62.3%、次いで「通勤・通学の利便性」が43.7%、「自然災害が少ない」が35.1%となっています。

檀原市の不満だと感じる場所について、「特にない・わからない」が48.1%と最も多く、次いで「道路などの都市基盤」が24.8%、「通勤・通学の利便性」が15.8%となっています。



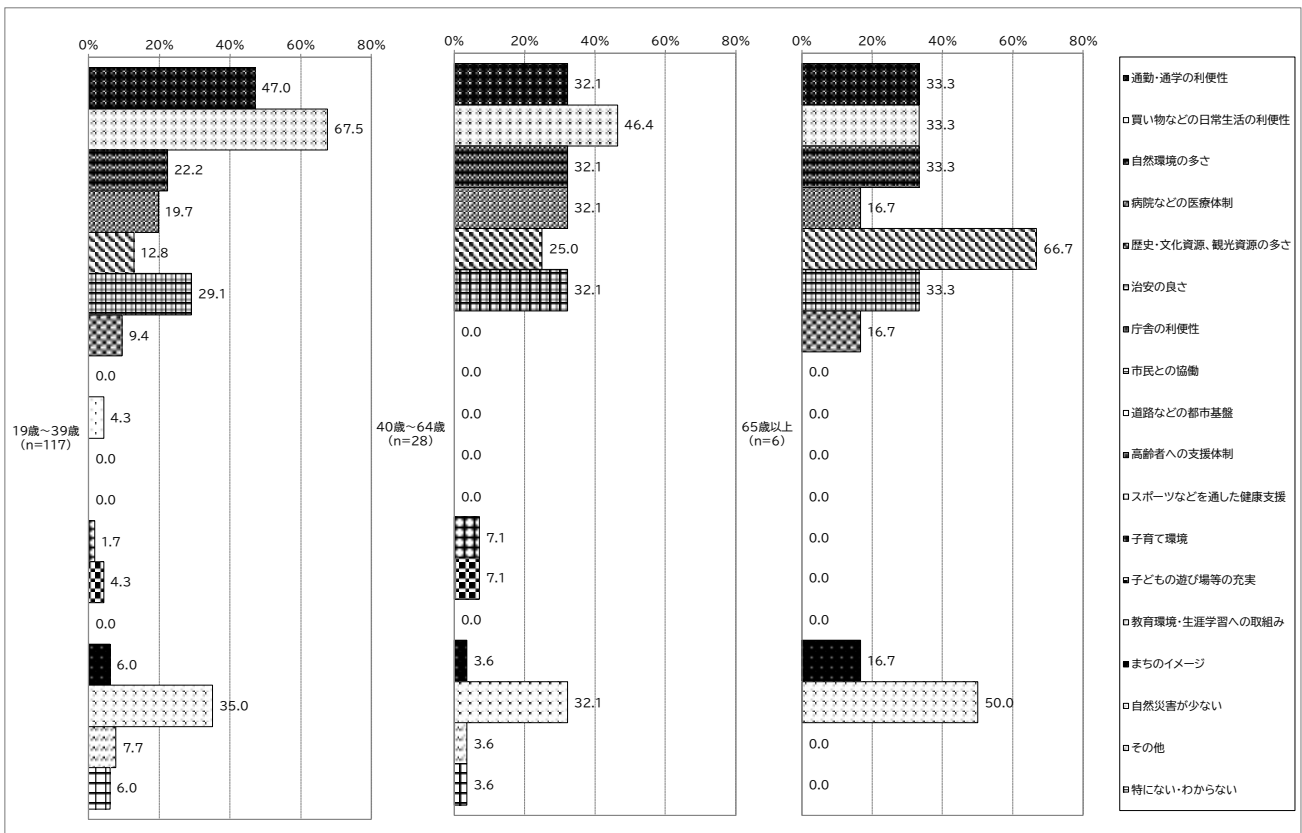
## ■ 年代別

### 魅力的だと感じるところ

年代別の上位3位の『魅力的だと感じるところ』は以下のとおりです。

	19歳～39歳 (n=117)	40歳～64歳 (n=28)	65歳以上 (n=6)
1位	買い物などの 日常生活の利便性 (67.5%)	買い物などの 日常生活の利便性 (46.4%)	歴史・文化資源、観光資源の 多さ (66.7%)
2位	通勤・通学の利便性 (47.0%)	通勤・通学の利便性／ 自然環境の多さ／ 病院などの医療体制／ 治安の良さ／ 自然災害が少ない (32.1%)	自然災害が少ない (50.0%)
3位	自然災害が少ない (35.0%)	通勤・通学の利便性／ 自然環境の多さ／ 病院などの医療体制／ 治安の良さ／ 自然災害が少ない (33.3%)	通勤・通学の利便性／ 自然環境の多さ／ 病院などの医療体制／ 治安の良さ／ (33.3%)

すべての世代で、前頁であげた3項目が多くなっていますが、65歳以上では「歴史・文化遺産、観光資源の多さ」が66.7%と最も多くなっています。



## 不満だと感じるところ

年代別の上位3位の『不満だと感じるところ』は以下のとおりです。

	19歳～39歳 (n=101)	40歳～64歳 (n=25)	65歳以上 (n=7)
1位	特にない、わからない (51.5%)	特にない、わからない (32.0%)	特にない、わからない (57.1%)
2位	道路などの都市基盤 (23.8%)	道路などの都市基盤 (28.0%)	道路などの都市基盤/ 買い物などの日常生活の 利便性 (28.6%)
3位	子どもの遊び場等の充実 (16.8%)	買い物などの 日常生活の利便性 (24.0%)	

